

神戸市議会議員
(垂水区)市会報告
川内 きよなお

ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所
神戸市垂水区大町 1-2-10
TEL: 080-6175-4877
E-mail: bucq906@hi-net.zaq.ne.jp

令和5年第1回定例会市会（2月議会）開会中



この度の定例会市会は、令和5年度の予算(案)を中心に審議する定例会市会です。

新型コロナウイルスの発生から3年が経過しました。この間、神戸市は国の方針に基づきながら、様々な対策を講じて市民の皆さまの命と健康を守るべく取り組んで参りました。

5月8日には感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同等の5類に移行され、日常生活に浸透してきた基本的な感染対策が大幅に緩和されますが、決して感染が終息した訳ではありません。現状に応じて柔軟な対応を施していきながら、一日も早く元の元気な神戸を取り戻すために、しっかりと議論して参ります。

療育相談体制について

昨年の決算市会で、子どもの療育相談体制について質疑しました。これに対して、久元市長から前向きな答弁を引き出すことができ、令和5年度の予算(案)に反映することができました。

Q 川内議員 子ども家庭センターにおける発達検査、西部療育センターにおける診療受診については、最初の相談・申し込みから実際に検査・診療を受けられるまでの待期間が、それぞれ子ども家庭センターで3ヶ月半、西部療育センターで半年となっている。すべての相談には対応しなければならないことは大前提としたうえで、相談内容と相談に関する機関をうまく整理することで、待期間の短縮を図れるのではないかと考えるがいかがか？



A 久元市長 この問題は、私も折に触れて何とかしなければならぬと考えている。令和5年度予算の中で具体的な方策をしっかりと議論して改善するという決意・意気込みで取り組んでいきたいと思う。

これに基づいての予算(案) ▶療育センター・子ども家庭センターの待期機関短縮に向けた相談受付ルートを再構築し、「(仮称)こべっこ発達支援チーム」を新設に向けた予算(案)2千万円が提案されています。

神戸市2023年度当初予算案

- 一般会計：8794億円(▲0.8%)
- 特別会計：6803億円(3.0%)
- 企業会計：3284億円(▲1.4%)

●総額：1兆8881億円(0.4%)

(注) %は22年度当初比の増減率。▲はマイナス

神戸市二〇二三年
当初予算案の主な事業

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保 → 142億円
- 医療費助成の拡充や保育士の負担軽減など切れ目のない子育て支援 → 65億円
- 民生委員の増員に向けた取り組み等地域活動への支援 → 5億円
- 神戸空港の国際化に向けたターミナルなどの施設整備や交通アクセスの強化 → 125億円
- 認知症神戸モデルの推進(認知症診断助成制度、認知症事故救済制度の継続実施) → 3億5千万円

教育委員会・こども家庭局関連分

妊娠届け出後に5万円、出生届け出後に新生児1人あたり5万円を支給

外来医療費助成の対象を高校生世代まで拡充

(令和5・10月開始予定)

市内高校生に対して通学期券購入費の一部を補助(年額14万4千円を超える費用の2分の1)

小学校35人学級編成の段階的实施

(令和5年度：～小4まで)

(令和6年度：～小5まで) (令和7年度：小6まで)

●中学校給食費を半額に引き下げ：(年間5万7千円 → 2万8千5百円)

●中学校給食の全員喫食制への移行に向けた取組みの推進

・(仮称)第一学校給食センター(神戸市垂水区)

令和5年度工事着手 → 令和7年供用開始予定

対象中学校区：垂水区・須磨区

・(仮称)第二学校給食センター(神戸市西区)

令和6年度工事着手 → 令和7年度中供用開始予定

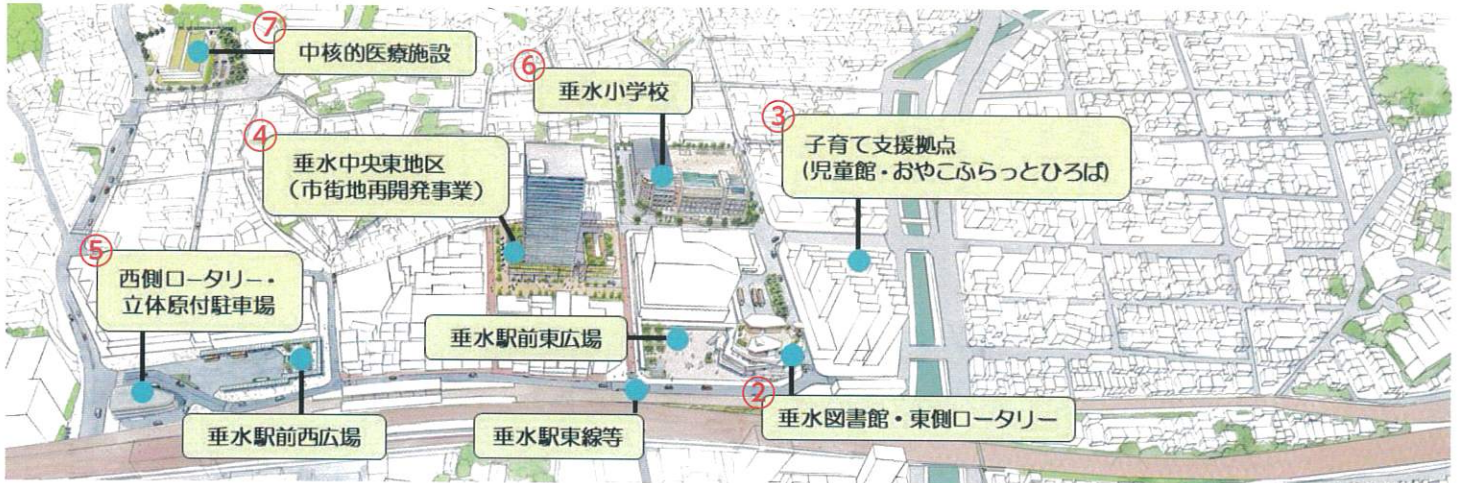
対象中学校区：灘区・中央区・兵庫区・長田区・北区

※東灘区・西区については民間デリバリー方式で対応

(第一・第二と内容は同じ)

☆全員喫食制への移行までの間、保温食缶を活用した温かい給食を提供

昨年4月に垂水体育館が完成し、現在多くの皆さんにご利用いただいていると同時に、ご意見やご要望もたくさんいただいています。今年の5月頃にアンケート実施しながら、より良い体育館を目指して取り組んで参ります。また、垂水駅前再整備事業もほぼ順調に進んでいます。工事中の安全はもちろんのこと、区民の皆さんに喜んでいただける、利用しやすい施設になるよう引き続き意見反映して参ります。



- ①垂水体育館 → 2022年4月4日から共用開始しました。
- ②垂水図書館・東側ロータリー / 垂水駅前東広場 → 共用開始は2024年度末頃(予定)
- ③子育て支援拠点 → 建物内4階の体育館があった場所を改装して、ゆったりとした児童館ができます。周辺の愛垂児童館と平磯児童館が統合される形となり、フロア内には乳幼児向けの「およこふらっとひろば」が併設されます。共用開始は2023年6月頃(予定)
- ④垂水中央東地区(市街地再開発事業) → 垂水廉売市場や周辺の商店街などを取り壊して、タワーマンションや商業施設が新設されます。共用開始は2027年(予定)
- ⑤西側ロータリー・立体原付駐車場 → JR垂水駅西口ウエステ前に送迎専用の一般車ロータリーと立体原付駐車場ができます。共用開始は2023年秋頃(予定)
- ⑥垂水小学校 → 垂水駅の山側にある垂水小学校の建て替え工事は着々と進んでいます。元々、北と東にあった2棟を西と南側に設けて、プールや体育館なども一新されます。共用開始は【西校舎】2023年春頃(予定)・【南校舎】2025年春頃(予定)
- ⑦中核的医療施設 → 商大筋にある徳洲会病院が、産科・小児救急を含めた救急機能を持つ「急性期病院」として整備されます。共用開始は2025年2月(予定)

学童保育コーナーの過密化解消に向けて

昨今は、児童数の増加に伴い学童保育を利用する児童が増え、学童保育コーナーが大変過密化している状況です。私は、以前から過密化解消に向けて取り組んできました。令和5年度は以下の3つの小学校において整備が行われることになりました。引き続き他の学童保育コーナーにおいても過密化解消に向けて取り組んで参ります。



つつじが丘学童保育コーナー (整備内容)

現在、つつじが丘小学校は学童保育未設置区であり、隣接する下畑台小学校区の桃山台児童館で学童保育を行っている。今後、下畑台小学校区の住宅開発によって桃山台児童館及び下畑台学童保育コーナーの利用者数が増加し、過密化することが想定される。そのため、現在、桃山台児童館を利用するつつじが丘小学校の児童を受け入れる学童保育コーナーをつつじが丘小学校校舎内に整備する。

高丸学童保育コーナー (整備内容)

現在、高丸小学校内で学童保育を行っているが、小学校教室が不足し、学童保育コーナーを普通教室として使用する必要がある。そのため、校舎内に新たに学童保育施設を整備する。

霞ヶ丘第二学童保育コーナー (整備内容)

現在、霞ヶ丘児童館及び小学校敷地外にある霞ヶ丘学童保育コーナーで学童保育を行っているが、いずれの施設も過密となっているため、小学校敷地外に霞ヶ丘第二学童保育コーナーを整備する。